

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 4月20日

【評価実施概要】

事業所番号	2971000431
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア-香芝
所在地	奈良県香芝市五位堂6丁目200-1 (電話) 0745-70-5065
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年4月13日

【情報提供票より】(21年 4月 6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	16 人
	常勤 7 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 9 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り 金属瓦葺
	2 階建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,700 円	その他の経費(月額)	38,850 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	100 円	昼食	300 円
	夕食	370 円	おやつ	円
	または1日当たり 770円			

(4) 利用者の概要(4月 6日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 84 歳	最低	64 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	日の出診療所・土庫病院・たかさき歯科医院 ほか
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人代表者は、認知症介護に深い関心を寄せられ、県内各地に事業所を創設されています。当ホームもその一つとして新築・開所されました。穏やかな色調の建物は周囲の環境に溶け込んでおり安らぎが感じられます。ホーム内は、清掃も行き届き清潔で明るい共用生活空間が確保されています。入居者も持てる能力や特技を生かしながら本人のペース・リズムで穏やかに生活されています。職員も運営理念である「個の尊厳」を大切に様々な場面で協働しながら支援されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との密接な関わりを重視した理念の作成とその共有化や自己評価に際して、目的意識を持って職員の参画への取り組み等に改善が見られます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、前回の自己評価のあり方や外部評価の結果を踏まえ、今回の自己評価に際しては、職員が目的意識を持って参画されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的開催され、入居者の状況や行事の実施・予定の報告と運営上の課題や改善への取り組み等について意見交換等がなされています。しかし、会議への出席者に偏りが見られますので、幅広く意見を求めたり課題解決に取り組むために、会議の構成メンバーの検討が望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時に、職員から積極的に話し掛け、不安に感じられている事や意見・要望等を聞きだす取り組みがなされています。寄せられた意見等は記録され、会議で話し合い必要な事項はサービスに反映させる仕組みがあります。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入され清掃活動にも参加し、地域との交流に広がりが見られますが、日常的な付き合いに希薄感があります。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個の尊厳を基本に、住み慣れた地域での生活の継続と地域との関わりを重視した運営理念が作成されています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日のカンファレンス等で、理念の共有化と実践に活かすための確認がなされています。なお、入り口に簡潔な表現で理念の掲出がなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入され清掃活動等にも参加し、地域との交流にも広がりが見られます。		日常的な付き合いに希薄感があります。ホームの持つ機能や技術等の地域への還元やホーム内行事への招待等も検討され、地域との積極的な交流への取り組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、前回の自己評価のあり方や外部評価の結果を踏まえ、今回の自己評価に際しては、職員も目的意識を持って参画されています。また、カンファレンス等で改善点を議題にあげ、改善に向けた継続的な取り組みをされています。		ホームとして、改善点が残されていることを認識されていますので、更なる改善に向けた取り組みをされることを期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催され、入居者の状況や行事の実施・予定の報告と運営上の課題や改善への取り組み等について意見交換がなされています。なお、出された意見等は検証し運営に生かす事とされています。		会議への出席者に偏りが見られますので、積極的な出席要請と共に構成メンバーの検討が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに制度改正されて以来、行政との連携は不可欠と考え、運営上の各種相談や情報交換等に頻繁に訪問されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に、健康状態や暮らしの様子等について報告がなされています。また、毎月発行のホームだよりに行事等の写真を添付し送付されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、職員から積極的に話し掛け、不安を感じられている事や意見・要望等を聞きだす取り組みがなされています。寄せられた意見等は記録され、会議で話し合い必要な事項はサービスに反映させる仕組みがあります。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎に職員の固定化を基本とされ馴染みの関係維持に努められています。異動時には、しっかりした引継ぎと他の職員との連携により入居者の不安解消とダメージ防止への配慮がなされています。		サービスの質の確保の一つは、入居者と職員の馴染みの関係作りにあります。入居者や家族との信頼関係を築くためにも、職員の異動を最小限に抑え、入居者へのダメージを最小限にするような配慮が望まれます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員育成には熱意があり、経験や段階に応じた法人内研修を毎年実施されています。また、必要に応じて外部研修の機会確保が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、同業者との交流機会を確保されていますが、職員までには至っていない状況にあります。		サービスの質は職員の資質と連動するものと思慮しますので、同業者への訪問等は職員の育成とサービスの質を高める上で効果が期待出来ますので検討が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居は、本人の納得を基本とされ、ホームの見学時には十分な説明と入居者と話をする時間を設ける等により安心した移行への取り組みがなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の先輩と常に尊び、一人ひとりの経験や特技が生かせる機会を作り、共感した支援に努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴の把握と暮らしの中での言動をしっかりと把握・記録され共有化に努められています。困難な場合は、家族から意見を聞くなど情報を得るよう努め、本人本位に検討されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、より良い暮らしの維持・継続に資するものであることから、家族等の関係者が相談され作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、長期・短期の目標を設定し、毎月、解決すべき課題を評価され必要に応じた見直しが実施されています。なお、状態に変化が見られる時には家族と相談され随時の見直しもされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医受診や買い物・一時帰宅時の送迎等家族の状況も勘案して柔軟な支援がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を優先した受診支援が図られています。この際には、暮らしの状況等の情報提供もなされ適切な対応がなされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	管理者は、家族等が重度化や終末期に対する関心の高い事を認識され、関係者が相談され基本的な方針が樹立されています。また、職員間にも方針が浸透しています。なお、24時間の医療機関との連携体制も整えられています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関するマニュアルがあり職員への周知・徹底が図られています。また、個人情報に関わる書類等は決められた方法で適切に管理・保管されています。なお、「個の尊厳」を大切にした支援に努められています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な日課表が作成されていますが、一人ひとりの希望やリズムを尊重した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食に対する意欲や関心を持たせるために、キッチンがオープン化されており、入居者も能力の範囲で盛り付けや後片付け等に協働される等による楽しい雰囲気づくりへの取り組みがなされています。		入居者の食事支援をしっかりと行うために、職員は同席されていますが食事を一緒に摂られていません。一緒に食事をする事の意義について再考される事を期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定がなされていますが、本人の習慣や希望に沿って、タイミングを見ながら支援されています。なお、夜間入浴は希望者が無く実施されていませんが、希望者が出れば対応する体制が確保されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や日々の暮らしの中から得た情報等を基に、特技や能力の発揮できる機会・場面作りに工夫され、楽しみ事・気晴らしへの取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもりを無くすために、周辺散歩の習慣化や希望に合わせた買い物・喫茶店等外出機会の確保が図られています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を正しく認識されていますが、安全の確保を優先し玄関には施錠されています。なお、本件については、家族の了解は得られています。		施錠のあり方について、職員全員で検討されていますが結論を得る迄に至っていませんので、解消への取り組みが望まれます。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定した消火・避難訓練は定期的実施されており、法人内の応援体制の整備と地域住民への呼びかけがなされています。		火災時には、入居者を安全・迅速に屋外に誘導する事が求められます。このためには、周辺住民の協力は不可欠ですので、積極的に働きかけ応援・協力体制の整備に努められる事を期待します。また、震災に備えて必要物品の備蓄も検討下さい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取・補給状況は詳細に記録され、栄養バランスについても副食の配食業者の献立表でチェックし健康管理に注意されています。なお、摂取に偏りが見られる入居者には補助栄養食品の提供がなされています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、清掃が行き届き広く・明るく・清潔が保たれています。また、季節を感じられる様な適度な装飾が施され安らぎが感じられます。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具・調度品や好みの品が持ち込まれ、安心して過ごせる居室となっています。</p>		